

医療新世紀

スマホに光と影の両面

総務省の調査では日本人の6割が所有するスマートフォン。大音量による聴覚障害、近くで画面を見続けることによる近視への懸念がある半面、視覚・聴覚障害者の補助ツールとしての有用性が確かめられている。市民公開講座「スマートフォンの光と影」(日本学術会議主催)が開かれ、専門家がこの両面について講演。適切な使用方法を守る一方で、補助員としてはさらなる活用、普及を図ることを提言した。

▽目を休める
小森さんは「悪影響を咽喉科の小森学講師は、防ぐためにはイヤホン使用が聴覚に与える影響を1日1時間にとどめ、使用後は目を休めるように心掛ける」とい。

小森さんによると、聴 十分な睡眠や、日常の騒音に悪影響があるのは80音を耳栓などで避けること85分より大きな音。スとも大切だ」と話した。マホの音量を制限する国 外の音をシャットアウトもあるが、日本の機種は する機能があるヘッドホン100〜105分の出力 ンも有用だという。が可能で、これは、車の 視力への影響に関してクラクションを間近で聴 は東京医科歯科大眼科の

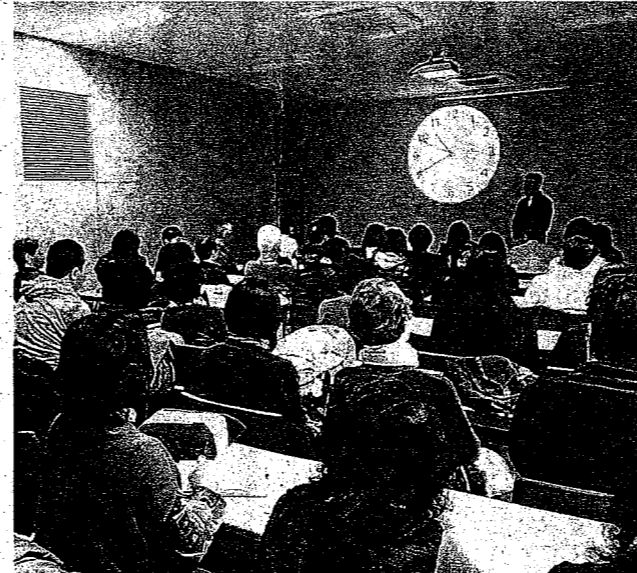
近視や難聴には要注意 障害補助ツールに有用

スマートフォンの光と影

注意点	可能性
<ul style="list-style-type: none"> 80〜85デシベルより大きな音は悪影響 イヤホンは1日1時間まで 使用後は目を休める 睡眠も大事、騒音には耳栓 	<ul style="list-style-type: none"> マスク使用で不便6割 スマホとAIで音声の文字変換機能が高度化 雑音のない磁気ループシステムの普及を
<ul style="list-style-type: none"> 小児の近視が世界で急増 スマホは人の目が経験したことのない強い刺激 近視のほか、斜視の危険も 保護者が使用時間管理を 	<ul style="list-style-type: none"> 文字拡大や読み上げ機能が既に実装 色調補正など多様なアプリ 音声入力や移動と情報アクセスが容易に

(日本学術会議主催の市民公開講座の講演から作成)

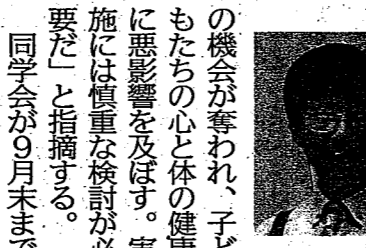
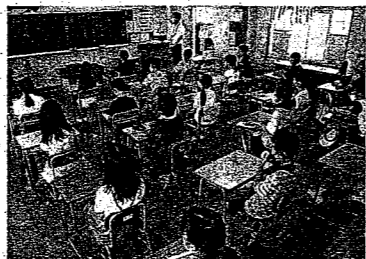
ネクストビジョンが開催した視覚障害者向けのスマホ活用に関する情報交流会＝2018年12月、東京都内(三宅琢氏提供)



大野京子教授が登壇。小児の近視が世界的に急増し、日本でもここ30年で約3倍に増えたとのデータを紹介。「小さな画面を間近で見つめるスマホは人の目が経験したことのない強い刺激になる」と注意を促した。近視だけでなく、寝転んで見てピンと左右でずれたり、画面が近すぎたり、目が寄ったりして斜視の危険性も高まる。大野さんは「スマホを頻繁に使う人は、使用時間を過小評価しているとデータもある。小児では、保護者が利用時間をきちんと管理し、外遊びの時間を確保するようにしてほしい」と話した。の補助器や人工内耳に雑音の強化を提言。また、音声入力と日本語変換の進歩の実例として動画を再生。声で指示するだけでアラーム設定や天気の確認、メッセージ送信、日程管理、飲食店を探して道順を調べるなどがわずか3分で可能であることを示した。三宅さんは「スマホは、視覚障害者の『移動と情報アクセスの困難』を解消し、人とのつながりを広げるツールになり得る」と強調した。障害者の生活を補助する新しい支援アプリについては、東京都障害者IT地域支援センターの「やくだち情報」のページに掲載されている。

音のない音を伝える「磁気ループシステム」の導入が進んでいるとして、日本でも普及を早めるよう訴えた。

からだ こころ ナビ



授業が再開された小学5年生の教室
11月8日、名古屋市

森内浩幸・長崎大教授
の機会が奪われ、子どもたちの心と体の健康に悪影響を及ぼす。実施には慎重な検討が必要だ」と指摘する。同学会が9月末まで

ケースが半数近くを占める。両親や祖父母など大人からの感染が子ども間の感染を大きく上回った。重症化する割合は大人に比べて低い。学校内でのクラスター(感染者集団)も発生しているが、大人数の割合が大きい。森内さんは「新型コロナウイルスは誰しも免疫を持たないため、社会的に活発な大人の数が感染の機会が多い」とみている。

「新型コロナウイルスを恐れるあまり、通常の予防接種を子どもに受けさせるのを控える親も出てきている」と森内さん。休校が続くと家庭内での虐待が増える懸念もある。「休校が必要な場合はマイナスイメージの虐待が増える懸念もある。休校が必要な場合はマイナスイメージの虐待が増える懸念もある。休校が必要な場合はマイナスイメージの虐待が増える懸念もある。」

コロナ流行 大人が拡大 休校は子どもにも悪影響

国内で新型コロナウイルスの流行を広げているのは子どもではなく主に大人であることが日本小児科学会の調査で分かってきた。子どもも大人と同じように感染するが、インフルエンザと違って子どもが大人にうつすケースはそれほど多くないようだ。

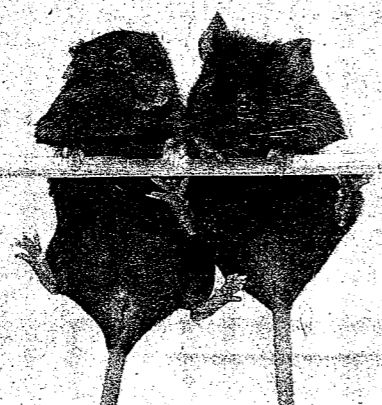
型コロナの流行が拡大すると休校に踏み切る学校が増えそうだが、同学会の理事を務める長崎大の森内浩幸教授は「休校が長引くと学び

に集めた20歳未満の症例データによると、感染経路が判明した約370人のうち7割以上が家庭内での感染だ」と指摘する。学校や保育施設から家庭に

比べて規模も広がりも小さい。森内さんは「新型コロナウイルスは大人が家庭に持ち込んで子どもに感染させる。学校や保育施設から家庭に

「新型コロナウイルスを恐れるあまり、通常の予防接種を子どもに受けさせるのを控える親も出てきている」と森内さん。休校が続くと家庭内での虐待が増える懸念もある。「休校が必要な場合はマイナスイメージの虐待が増える懸念もある。休校が必要な場合はマイナスイメージの虐待が増える懸念もある。」

性別決めるタンパク質発見



大阪大 マウス遺伝子解析
マウスの性別を決定するタンパク質を発見したと、大阪大の宮脇慎吾招へい教員(分子生物学)らのチームが、米科学誌サイエンス電子版で発表した。これは、性別を決めるタンパク質と、卵

最新のSry遺伝子... 性別染色体がXY XX

国際... 安全な避妊の選択肢を

安全な避妊の選択肢を